

## ■ 領域代表より



領域代表 陰山 洋

我々の新学術も3年度目に入りました。今日は6月9日、14日に迫っている文科省へ提出する中間審査書類の最終チェック段階です。中間審査の準備の大変さは重々承知しており、なるべくバタバタしないように事務的にはデータ収集は事前に行うように心がけてさりと乗り切る予定でした。例えば、共同研究報告、論文発表、受賞、プレスリリースを含め、15種類のデータを毎月事務局で収集し、データを皆で共有していいいます。しかしながら、新学術特有のしきたりや連携研究者の廃止などルールの変更があり、思ったより大変でした。4月、5月の多くはこの作成に時間が取られました。特に、計画研究代表の荻野先生（産総研）、林先生（九大）、前田先生（東工大）、国際活動支援の中心人物の八島先生（東工大）に加え、稲田先生（九州大）、山本先生（京大）、野田先生（京大）、片桐先生（広島大）、事務方として西之園 晃さん（九大）と野尻 聡子さんには大変な労力を割いていただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

すでに過去のニュースレターでも書いておりますが、私たちの新学術領域研究では、「共同研究を徹底的に進める！」をモットーにこれまでやっています。3月31日現在でその

結果をまとめた表を示します。これは中間審査のために作りました。表の中にある数字は、発足して以来の各計画研究者の領域内の共同研究プロジェクト数です。ただし、スペースの都合上、公募研究者は各班での総数とし、連携研究者は省略しています。計画研究者は平均50.3件の共同研究があります。「共同研究は一人20件」のキックオフ会議での発言は正直に申し上げると半分はったりでしたのでこの目標が現時点で既に大きく超えているのは大変感慨深いです。また、公募研究者の共同研究数（平均18.1件）も大いに励みになります。数独のように太枠でみたとき、非対角要素が班間の連携を意味しますが、班内だけでなく班間連携も進んでいることがみてとれます。また、メンバー間の共著論文の数は色で表記しました。ここでも連携研究者は含めていません。この表からはわかりませんが、3名以上の共著論文も多いことも特徴になっています。求められている書類の内容を考えますと、実質一年半で中間審査は今でも不可解ですが、このシステムがあったからこそ、圧倒的な数の共同研究が進んだともいえると思います（そこには感謝）。

研究成果に関しても、今回改めて精査してみますと、顕著な成果だけでなく、複合アニオンに関する新しい、知識や技術が蓄積されてきていることがわかりました。これらの成果のほとんどが、上記の共同研究から得られた成果であることは大切な事実で、複合アニオン化合物の研究は、合成、解析、機能のどれをとっても1研究室で閉じてできないことを意味しています（1研究室で完結できた従来型材料の研究とは異なります）。しかしながら、現状ではまだ得体の知れなかった複合アニオン系がおぼろげにみえているにすぎません。中間審査にあたり、6名の外部評価の先生からは「これまでの結果は上々、ただしこれから本番」とのお言葉をいただ

いております。武田先生の巻頭言は身にしみます。

残り3年、「鳥なき里」に安住せず、共同研究をますます活発に行いながら、複合アニオンの学理の構築を目指して研究を楽しみながら進めましょう。

	A1							A2								A3							共同研究のべ数			
	計画							計画								計画										
	A1-1	A1-2	A1-3	A1-4	A1-5	A1-6	A1-7	公募	A2-1	A2-2	A2-3	A2-4	A2-5	A2-6	A2-7	A2-8	公募	A3-1	A3-2	A3-3	A3-4	A3-5	A3-6	A3-7	公募	
A1	A1-1	1	0	6	4	2	3	7	0	0	0	0	12	0	0	4	13	0	0	0	0	3	4	0	6	65
	A1-2		1	4	3	2	4	5	1	2	1	3	3	0	2	0	5	3	1	2	0	0	3	0	0	44
	A1-3			0	0	3	6	0	0	0	1	2	0	0	2	2	3	1	2	0	0	0	2	0	3	28
	A1-4				2	3	3	2	0	1	0	0	0	2	2	2	18	2	0	2	0	2	0	0	0	51
	A1-5					3	1	15	2	3	2	5	6	1	1	45	16	4	7	0	0	5	8	1	7	139
	A1-6						2	4	1	0	2	2	2	0	2	2	6	0	2	0	0	2	1	0	1	42
	A1-7							10	0	0	0	0	2	2	3	3	3	0	1	0	0	2	0	1	0	46
	公募							5	2	4	0	4	11	2	3	5	7	9	5	0	0	0	2	1	14	117
A2	A2-1								4	3	4	11	4	10	2	3	0	0	0	1	1	0	1	2	52	
	A2-2									2	0	2	0	0	4	3	5	0	2	0	0	2	0	0	34	
	A2-3										0	4	2	2	0	2	3	2	2	0	0	0	0	0	2	30
	A2-4												3	2	2	8	2	2	2	1	0	1	0	1	5	49
	A2-5													3	1	8	0	4	5	0	0	3	2	1	6	89
	A2-6														0	3	1	1	3	0	0	0	0	0	10	36
	A2-7															0	1	2	0	0	0	0	0	0	4	37
	A2-8																11	3	2	3	0	4	7	0	8	126
	公募																2	2	1	4	1	3	3	1	2	113
A3	A3-1																8	2	1	3	3	1	5	64		
	A3-2																	2	1	0	0	0	13	57		
	A3-3																			1	1	3	0	0	23	
	A3-4																				0	0	0	0	5	
	A3-5																					2	2	2	39	
	A3-6																						0	3	40	
	A3-7																							1	11	
	公募																								1	95

**共著論文色数**

0
1
2
3
4
5
6-10
11-15
16-20
≥21

A01 合成班 (A1-1~A1-7)  
 荻野, 垣花, 股, 本郷, 陰山, 稲熊, 鱒淵  
 A02 解析班 (A2-2~A2-8)  
 林, 木本, 吉田, 野田, 八島, 桑原, 稲田, 山本  
 A03 機能班 (A3-1~A3-7)  
 前田, 内本, 長谷川, 牛山, 田部, 森, 松石